

令和元年度 第2回 藤沢市介護保険運営協議会

日 時：2019年（令和元年）8月19日（月）

午後2時から午後4時まで

会 場：藤沢市役所 本庁舎 6-1 会議室

1 開会

2 前回会議の議題（6）における清水委員の質問に対する回答

<質 問>認知症に対する予防と共生の今年度予算額はどのくらいの金額か。

<回 答>認知症予防の予算額は、約6,700万円。共生認知症予防以外の共生に関する予算額は、約843万円。合計で7,543万円。介護保険事業費全体の中では、約0.3%になります。

3 議題

<公開議題>

（1）平成30年度 藤沢市介護保険事業の実施状況について

◆事務局から【資料1】に基づき説明。

（2）平成30年度 地域包括支援センター活動報告及び令和元年度活動計画等について

◆事務局から【資料2-1】及び【資料2-2】に基づき説明。

●議題（1）について質問等

- ・委 員：資料1のP.29で、（住民主体型）高齢者の通いの場の実施箇所数（か所）は、平成30年度の計画目標が15、実績が11とあるが、実際の取り組みを教えてほしい。
- ・事 務 局：住民主体の団体は11団体が実施し、それ以外に委託型ということで社会福祉法人に委託をしているものが現在10か所、その他に地域の縁側ということで34か所ある。また、公園体操などのグループは、市が補助しているもので24か所ある。高齢者の居場所やサロン活動は、高齢者の通いの場に限らず、様々な居場所やグループがあると認識している。
- ・委 員：保険給付費は平成29年度から平成30年度で4%弱増加、被保険者の状況は同じく2%程、上昇している。毎年の保険給付費は被保険者数の増加によるものなのか。数年後の市の見込みはどうなっているのか。
- ・事 務 局：保険給付費の今後の見込みは、高齢者数の伸びや、それに伴う事業所の整備により、介護保険事業計画の中で示しているとおり伸びる見込みを想定している。

- ・委員：具体的な数字はどうなっているのか。
- ・事務局：次回、数値を示す。

●議題（２）について質問等

- ・委員：活動報告の相談支援業務について、地域ごとの状況などを教えてほしい。
- ・事務局：湘南大庭の相談実人数は多く、相談延べ件数は一人が何回も相談しているなど、分析はできていないが、件数自体は多くなってきている。
- ・委員：活動計画等の地域ケア会議で、市の課題は出てきたのか。また、課題を把握して、政策に提言するような方向で進めていくものと思うが、その部分についての説明をしてほしい。
- ・事務局：昨年度は、地域包括支援センターが初めて主催して、事例をケアマネジャーが出すところから始まった。今年度は回数を重ねて地域課題の発見などを行っていく。
- ・委員：地域ケア会議に出席しているが、地域の課題の把握に関して、事例検討だけでは見えてこないと思う。また、昨年度から地域ケア会議に民生委員の出席をお願いしているが、今年度はケアマネジャーだけの出席ということを知っている。資料２－２で民生委員の記載があるが、記載内容と実際に行っていることの違いを説明してほしい。
- ・事務局：事例検討をどのように行うかを地域包括支援センターの職員やケアマネジャーを含めて検討することを優先として進めてきたので、地域課題の解決という点では、不足している面が多くある。
地域包括支援センターの職員やケアマネジャーが民生委員と連絡会を行い、情報交換などが徐々に始まっている状況にある。いつか民生委員にも参加していただけるように進めていきたい。
- ・委員：この事例検討で、この方にどういう支援が必要かについて、市民に最も近い民生委員の意見や、事例検討の内容を民生委員が聞いてどう感じるかが重要であり、その先のネットワークを構築していくためにも、最初から民生委員には聞いていただく必要があると考える。
- ・会長：地域ケア会議に出席しているが、ケアマネジャーと徐々に連携を取り、民生委員でないと気付かない意見があると思うので、それを大事にしていくことが、大切だと思う。今年度の残りの地域ケア会議で、来年度に向けて、検討ができればと思う。
- ・委員：いろいろなやり方があると思うが、藤沢市の場合、個別事例やその方の自立について、ケアマネジャーが専門職からの助言を基に、重度化防止の視点などを考えていくことによって、ケアマネジャーの資質の向上や地域住民の介護予防へと繋がっていくと思う。地域で足りないことなどの話が出てきているが、それがすぐに政策へ繋がる状況になく、それぞれの地域実態を見ているのが現状だと思う。地域ごとにどんな支援が必要か、住民主体の団体など

がどう関わっていくべきかを考えるのが、今年度の課題だと思う。

- ・委員：地域の把握よりも、どうしたら自立していけるかについて、もう少しみんな
で意見を出し合うことが重要だと思う。

(3) 指定介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントの業務委託可能な居宅介護支援事業所の承認について

- ◆事務局から【資料3】に基づき説明。
- 質問等はなし。承認。

(4) 2019年度 地域密着型サービス事業者の公募について【結果】について

- ◆事務局から【資料4】に基づき説明。
- 質問等はなし。

(5) 地域包括ケア「見える化」システムを活用した地域分析について

- ◆事務局から【資料5】について説明。
- 議題(5)について質問等

- ・委員：藤沢市の人口は約43万人で他市町村と比較しやすい人口規模だと思う。県内の自治体だけでなく、同程度の人口規模の他市町村と高齢化率などを比較して分析していただきたい。また、在宅サービスについて、要介護1の受給者一人あたりの給付額が県下で1番多いので、現場の方はかなり努力されているかと思う。ケアマネジャーや現場の方の実証にも、励みにもなるので、要因分析する場合には、現場の方の声を聴きながら行ってほしい。
- ・委員：現場では、そういったデータは取っていないが、一括でデータ検証ができるものがあればよいと思う。
- ・委員：具体的に何か努力しているかというと思いつかないが、現場では、利用者の比率が要介護者の比率と同じぐらいに感じる。
- ・委員：介護予防を行っている事業所と行っていない事業所の差があると思う。訪問看護を運営しているが、病院やケースワーカーからの話が圧倒的に多い。
- ・委員：身体機能の維持を重点として、事業所へ通われている高齢者の方がいる。事業対象者の方は、ヘルパーを使いたいというよりも機能訓練をしたいという方が多いと思う。訪問型サービスでは、「ここはできるので、こっちは頑張りましょうね」といった声かけをして、残存機能を活かす取り組みをしている。
- ・委員：介護度が上がらないという現場の努力をデータとして、数値分析が可能ならば示してほしい。

(6) 平成30年度 保険者機能強化推進交付金について

- ◆事務局から【資料6】に基づき説明。

●議題（６）について質問等

- ・委員：藤沢市は県平均より上回っているが、評価指標のⅡ（８）などが０点である。伸びしろがあるのかどうか気になるが、今年度も同制度はあるのか。
- ・事務局：毎年度の実施が予定されている。今年度の評価指標が厳しくなっている。今後、点数の比較などが見える形にして示す。

（７）その他

◆事務局から当日配布チラシ（３点）の案内

「介護の日（案）」

「おれんじキャンペーンふじさわ２０１９」

「地域に輝くシニアになろう！ 第１０回 地域活動見本市」

<非公開議題>

（８）地域密着型サービス事業者等の指定状況について

（９）平成３０年度 地域包括支援センター収支決算及び評価結果について

（１０）令和元年度 地域包括支援センター収支予算について

４ 閉会